

PAT.P

キャッチヘッド(高輝度放電灯 一般型用1000Wタイプ) / DLC-CH20 取扱説明書

このたびは、デンサン キャッチヘッド (高輝度放電灯 一般型用 1000W タイプ) DLC-CH20 をお買い上げいただきましてまこ とにありがとうございます。

で使用前に必ずこの取扱説明書をお読みになり指示に従って正しく使用してください。

お読みになった取扱説明書はお使いになる方がいつでも見れる所に保管してください。

安全上の注意

↑ た 険 この表示は「誤った取扱いをすると人が死亡、又は重傷を負う危険性が非常に差し迫って生じる可能性がある」内容を示します。

- 必ずランプの電源を切ってから作業してください。
- 高圧電線が近くにある場所での使用はお止めください。感電や重大な事故の原因になる恐れがあります。



★ 告 この表示は「誤った取扱いをすると人が死亡、又は重傷を負う可能性がある」内容を示します。

- ●ランプ(ガラス)の割れているものやキズついているもの(クラックなど)には使用しないでください。
- ●不意の落下物等で目を怪我する恐れがあります。ランプ交換の作業中はヘルメット、保護メガネ、手袋を着用してください。 必要であれば養生シートなどで保護してください。
- ●やけどの恐れがあります。ランプの交換は必ず電源を切り、ランプが冷えてから行ってください。
- ●ポールは垂直に立てて使用し、伸ばした状態で横倒しにしないでください。 ●形状と寸法に適合しないランプには使用しないでください。

↑ 注意 この表示は「誤った取扱いをすると人が傷害を負ったり、物的損害が発生したりする可能性がある」内容を示します

- ●ご使用前に部品のゆるみがないか、破損箇所はないか等の始業前点検をして安全確認後にご使用ください。
- ●ランプの取付けは、ソケットの角度に対してまっすぐに確実に差し込んでください。差し込みが不完全な場合は、振動などでランプが落下したり、電気的な 接触不良を起こすなど事故の原因となります。
- ●ポールを回転させた時、ソケットも回転した場合は直ちに作業を止めて、専門業者に依頼してください。
- ●必要以上に締めすぎるとロック機構を破損する恐れがありますので注意してください。
- ●継手部分は指先で軽く締めるだけでロックできます。あまり強く締めると戻しトルクが大きくなり緩まなくなります。
- ●継手を緩め過ぎるとスライドが開放状態になり急激に落下して指をつめるなど傷害の恐れがあります。継手は少し緩めるだけにして、スライド抵抗のある 状態でポールを押し下げてください。
- ●キャッチヘッド装着時は転倒による破損防止のため、取扱いには十分ご注意ください。
- ●清掃時は軽く湿った布巾で拭いてください。絶対にシンナーなどの溶剤を使用しないでください。溶剤による界面破壊を誘発しますので注意してください。
- ●シンナーなどの溶剤雰囲気中に長期保存しないでください。同様の界面破壊の危険性があります。

使用上の注意

- ●「キャッチヘッド」にランプを取り付けたまま絶対に放置しないでください。「キャッチヘッド」の弾力性が失われ、使用不能の原因になります。
- ●ランプ交換できない構造の器具もあります。チェーン・コード吊りの器具、斜めに取り付けられたランプなどは交換できません。また反射板とランプが近接 している器具では「キャッチヘッド」が反射板にあたり、操作できない場合があります。また無理に操作すると反射板やランプの変形・破損が生じますので 使用をおやめください。
- ●使用場所によってポールが長すぎて余る場合は必要な段数だけを使用してください。
- ●気温が-10°C以下の環境では使用しないでください。
- ●保管に際しては直射日光のあたる場所や高温の場所を避けてください。「キャッチヘッド」の寿命が短くなる原因となります。

使用制限

使用できない器具の代表例

- ●チェーン・コード吊りペンダント(右図-A)
- ●チェーン・コード吊りシャンデリア(右図-B)
- ●ダウンライト(右図-C)(ランプが斜めに取り付けられたもの)

使用するときに注意が必要な器具の代表例

●スポットライト(右図-D)

(点灯方向を重要視される場合とアームの強度に心配があるもの)

●直付シャンデリア(右図-E)

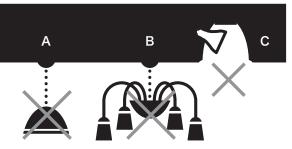
(セード及びアームの強度に心配があるもの)

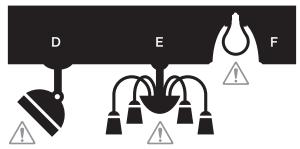
●ダウンライト(右図-F)

(反射鏡とランプが近接しており、キャッチヘッド挿入時に 反射鏡を押し上げる危険性があるもの)



ランプに交換キャッチヘッドを装着する時は、キャッチヘッド のランプ脱着時最大広がり巾にご注意ください。 (広がり巾には余裕を約5~10mm もたせています)



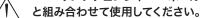


製 ジェフコム株式会社

使用方法

この製品は別売りの

・「ランプチェンジャー・ポール /DLC-AP33/DLC-AP60/DLC-AP93」



照明器具のソケットとランプの構造を理解するため、実際に自分自身の手でランプを交換し、 その後ランプチェンジャーを使用して作業されることをお奨めします。

1. 適合ランプ

高輝度放電灯(HIDランプ)一般型

- ・適合ランプバルブ径: φ140 ~ 180mm
- ・キャッチヘッド最大広がり巾: φ170 ~ 210mm



 $\phi 140 \sim 180$

2. キャッチヘッドの取りつけ

ポールのロックボタンとキャッチヘッドの穴位置を合わせて挿入すると、ロックされます。(図 1 参照) はずす時はロックボタンを(先の細い棒などで)押してキャッチヘッドを引っ張るとはずれます。



ロックボタンが出ていることを確認し、キャッチヘッドを引張ってもアルミポールから抜け ないことを確認してください。(図2参照)キャッチヘッドが落下する恐れがあります。

3. ランプを交換する



- ●固く締め込まれたランプやサビ等で口金に固着してしまったランプは取り外せない場合が あります。
- ●天井及び壁面に固定された照明器具のランプ以外は保持できません。吊り下げ式の照明器 具等は、動かない様に固定しなければならない為、交換できない場合があります。

① ポールを伸ばす

ポールを床面に立て、順次必要な高さまで引伸ばします。(図3参照)

a 継手をゆるむ方向(時計方向)に少し回せば簡単にスライドします。

緩める時は継手の上側のポールを持ってください。

ポールを立てた状態で継手を緩め過ぎると、開放状態になり上側のポールが急激に落下して、 指をつめるなど傷害の恐れがあります。継手は少し緩めるだけにして、抵抗のある状態でパ イプを押し下げてください。

b 継手を反時計方向に回すことで、ポールを固定できます。

少し強い目に締めた時のスライド方向へのロック強度の限界は約 15kgf(約 147N)です。 スライド方向への過度な荷重は絶対にかけないでください。

継手部分は指先で軽く締めるだけでロックできます。あまり強く締めると戻しトルクが大きく なり緩まなくなったり、継手の破損の原因となります。

② ランプを掴む

図4のように照明器具のランプとポールが同一軸上になるようにしてキャッチヘッドの先端をランプに 静かに当て、次にランプがキャッチヘッドに収まるまで押し込みます。

③ ランプを外す

少し押し加減のままランプを外す方向(左回転が一般的)へポールを回転させるとランプはソケットか ら外れます。

なお、ソケットが回転していると思われたら直ちに作業を中止してください。(電線間ショートの恐れが あります。)

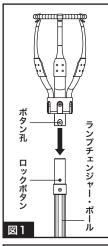
4 新しいランプの取付け

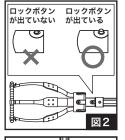
新しいランプをキャッチヘッドのゴム部に十分接触するところまで押し込んでください。 この時、ランプの口が正しい位置(図5参照)になるようにセットしてください。

ポールを伸ばし、ポール・ランプ・ソケット・が同軸上になるように自分の位置・姿勢を定めて、軽くゆっ くりと少し押し上げながらねじ込んでください。(図4参照)

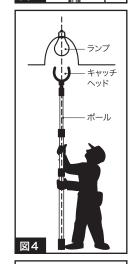
ねじ込みは2~3回転で締め付けられたことを示す手応えがありますので、そこでもう一度心持ち強く 締めれば終了です。(ランプが曲がって入った時は一旦元に戻し、ランプを外してからもう一度やり直し

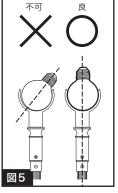
ポールを下に引くとランプからキャッチヘッドが外れます。



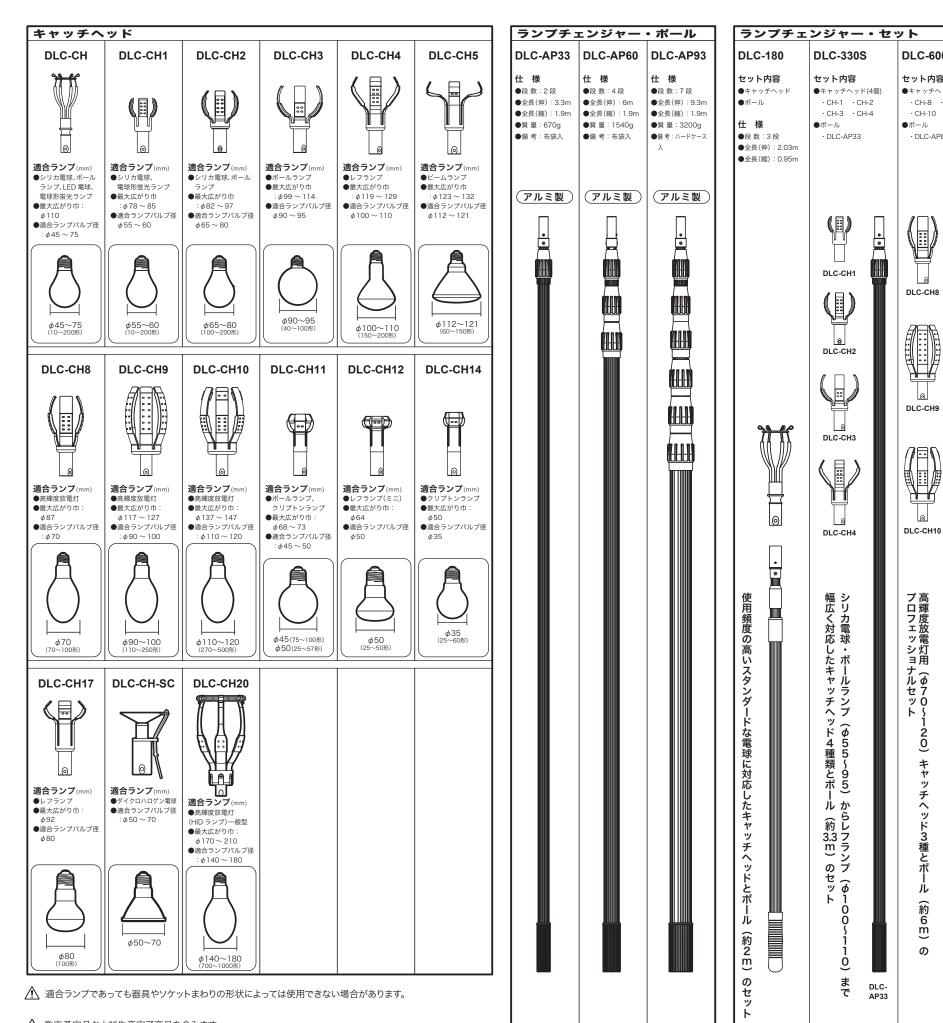


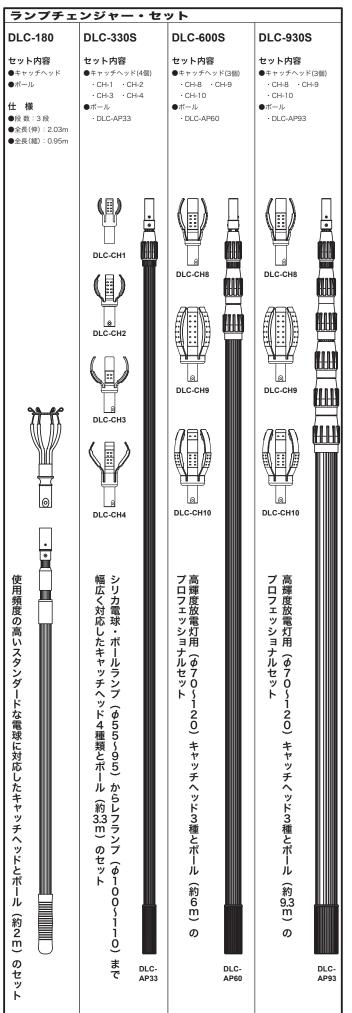


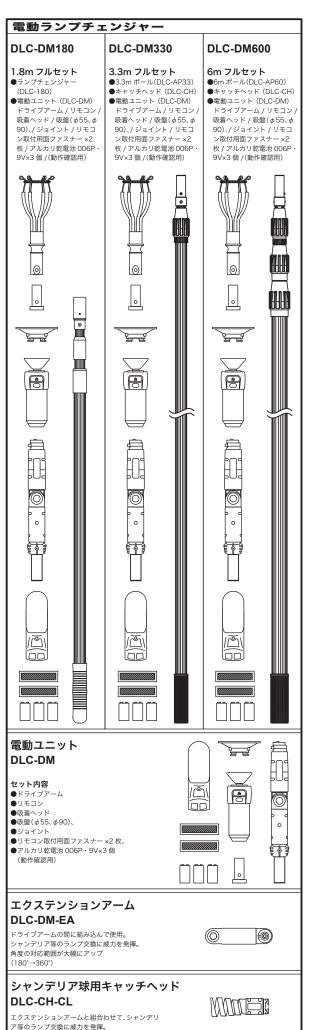




ランプチェンジャー&セードキャッチャーシリーズ









★ 発売予定品および生産完了商品を含みます。